

2023年9月7日

埼玉県知事 大野 元裕 様  
保健医療部長 表 久仁和 様

埼玉県保険医協会  
理事長 山崎 利彦

### 要望書

県民の受療機会を守るために、受診時の健康保険証持参を周知することを求めます  
併せて、国に対して健康保険証存続を上申することを求めます

貴職の県民医療向上に関する日夜のご尽力に敬意を表します。

さて、マイナ保険証やマイナシステムに関する報道が連日取り上げられています。埼玉県保険医協会では、このほど、オンライン資格確認システム導入とマイナ保険証による医療機関の窓口受付が、医療現場に及ぼしている影響の把握を目的として会員調査を実施しました。

これまでも会員調査を実施してきたところですが、今回の調査結果においても様々なトラブルが医療現場に大きな負担を及ぼしていることが判明しています。

マイナ保険証を利用した受付によって「受付業務が増えた」とする回答は92%に上りました。トラブル事例は、操作に不慣れな患者への説明や取扱操作の補助、機器のエラー対応による資格確認など、医療機関の本来の役割である医療提供から離れたところで発生しているものばかりです。

これらの多くは健康保険証により従前どおりに受付を行えば生ずることがない問題です。特に資格確認がマイナ保険証のみではできない例は相当数報告されており、回答者のうち96%が「健康保険証が必要」としています。受付の事務的なトラブルを回避することが医療機関にとっても患者にとっても有益です。医療機関の負担軽減を図るとともに、住民の受療の妨げとならないよう、次のとおり要望いたします。

マイナ保険証の推進は国の施策であります。県民医療の確保のために事態を重く受けとめ、早急にご対応くださいますようお願い申し上げます。また必要に応じて、国への措置を求めることもあわせて要望いたします。

### 記

- 1、県民が医療機関を受診する際、「マイナ保険証」だけでなく、「健康保険証」を持参するよう周知してください。
- 1、医療費助成制度の受給者証や公費医療の受給者証を保持する方は、「マイナ保険証」だけでなく、受給者証を同時に持参するよう周知してください。
- 1、健康保険証を廃止することなく、存続させるよう国に対して上申してください。

以上